

仕様書

1. 件名

水資源管理における海外企業のリスク管理技術等に関する調査

2. 目的

世界の淡水資源は、地域偏在性が極めて高く絶対量も限られており、今後、人口増加、経済成長、地球温暖化、都市化、水環境の汚染等により、世界的に水需給が逼迫し、水問題の顕在化が懸念されている。このような状況下で、世界における水ビジネスの市場は拡大すると見られているが、我が国の水関連産業は、世界の水処理膜の市場シェアの約6割を占めるなど、要素技術分野で強みを有するものの、水循環システムに対する運営・管理実績が乏しく、十分な収益、市場確保ができていないのが実情である。

そこで本調査は、日本の水管理に対する運営管理技術を補完すべく、他海外企業のリスク管理技術等を分析することを目的とする。

3. 内容

日系企業が目指す海外での水事業参入を実現させるために、海外水関連企業が実施する事業などにおけるリスク管理技術を分析する。

詳細は以下のとおり。

- ①水事業（上水事業、下水事業、あるいは両事業、工業用水事業、その他用水の供給事業）を一部または全部民間事業者へ委託している海外地域[※]を選定し、事業実施関係機関（事業委託者、事業受託者、及び関係機関）に、事業内容、契約内容、具体的なリスクの内容、リスクマネジメントの方法（リスクの把握、評価、軽減、移転）等に関するヒアリングを実施する。

※・・・選定する海外地域は、以下の条件を満たすこととする。

- ・異なる社会的環境を持つ地域を二か所以上
- ・上水事業の委託を実施している地域、下水事業の委託を実施している地域の双方を含むこと。
- ・本調査の目的に鑑み、実際に日系企業が各地域で水事業にどのようにしたら参入することができるかを把握できる地域を選択すること。

- ②ヒアリング結果と、入手可能な範囲で入札図書・契約図書・事業実施計画書・関連するガイドライン・標準契約書・標準要求水準書・評価レポート等に基づき、以下の検討などを行う。

- ・委託事業契約の概要
- ・契約形態の分類（例えば、施設の建設と運営を含む包括的な事業委託型・施設の運営のみの事業委託型／需要リスクを負担する型・負担しない型／など）
- ・外国企業参入の容易さと障壁

- ・具体的業務範囲、両当事者（発注者、受注者）の役割分担
- ・契約に存在する事業者の潜在的リスクと同回避策（リスクとしては、納期遅延（稼働開始遅延）・原水の供給量や水質設定・処理水の供給量や水質設定・サービス対価や料金の設定や変更・料金徴収・委託者による事業者の解除権・不可抗力被害・法令変更・業務内容変更・資金調達などに関連した事項（ただし、これらに限定するものではない）を含む。）
- ・事業委託者（自治体など）の支援策や保証内容などの整理

③上記①②の情報をもとに、実際に日系企業が各地域で水事業にどのようにしたら参入することができるか、どのようなリスクマネジメントが可能か等について検討する。

4. 調査期間

NEDOが指定する日から平成22年3月19日まで

5. 予算額

1300万円以下

6. 報告書

提出期限：平成22年3月19日

提出部数：電子媒体 CD-R（PDF ファイル形式） 1部

7. 報告会等の開催

委託期間中あるいは委託期間終了後に、成果報告会における報告をお願いすることがあります。

以上